

ハエ防除対策は冬季から始めましょう！

冬のサシバエの成虫を1匹放置すると、
春には1万匹になって返ってくるといわれています。
サシバエ対策は寒さが続く今から始めましょう。

できていますか？チェックしてみましょう

私たちの目に見えるのは成虫の20%
残りの80%は卵～サナギで隠れています。

卵・幼虫対策

□:こまめな清掃を行っていますか？

汚れた敷料や残餌を片付け、ハエの産卵場所を減らしましょう。

□:堆肥の切り返しを充分に行い、
IGR剤(幼虫の発育阻害剤)を散布していますか？

堆肥の発酵温度を65℃位まで上げましょう。
バークリーナー、糞の取り残しがある場所、牛が踏まない所のような、
ハエの発生しやすい所を中心にIGR剤を散布しましょう。

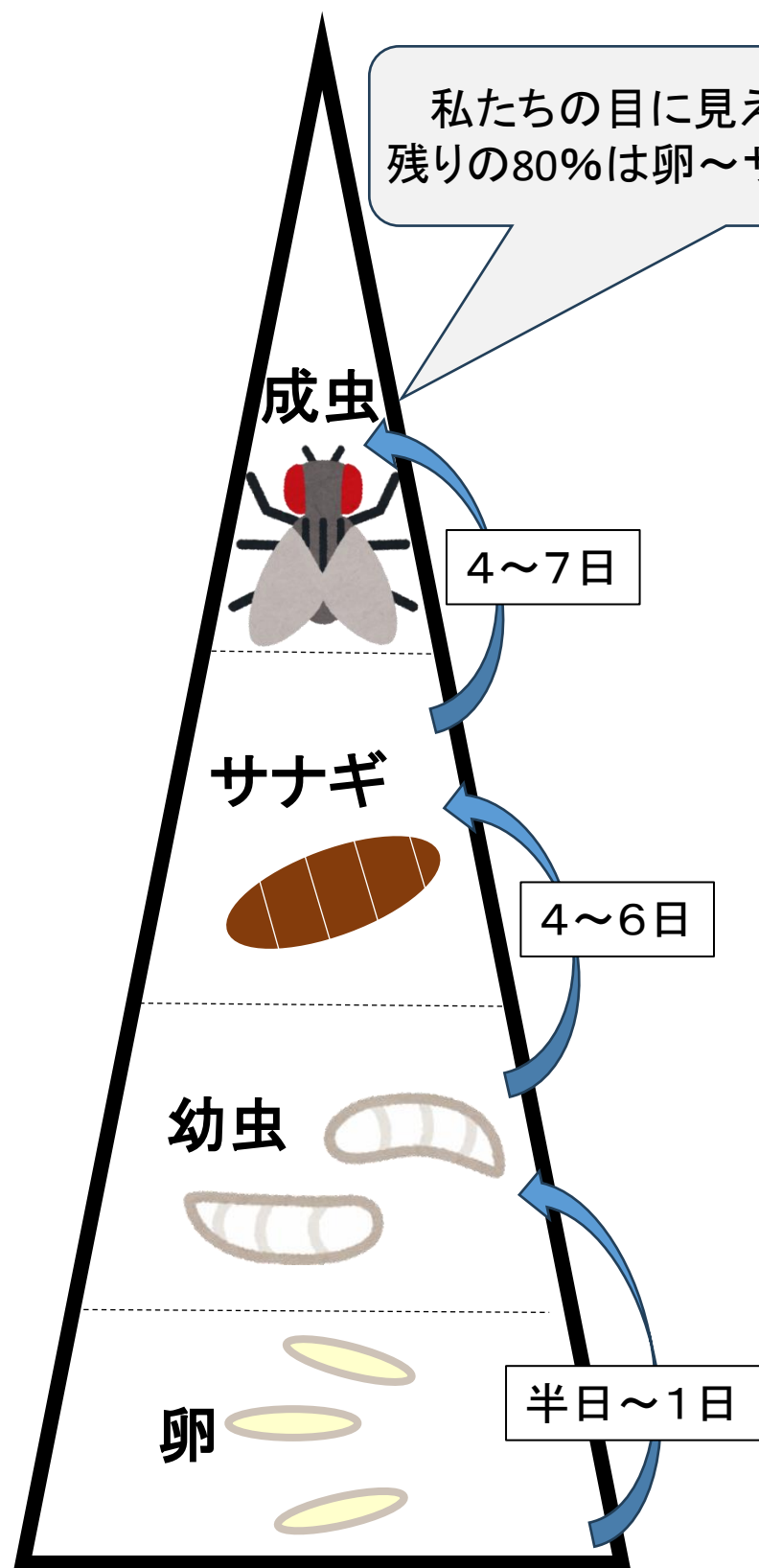
成虫対策

□:ハエ取り用粘着シートや成虫用殺虫剤を
使用していますか？

殺虫剤は系統が異なる薬剤をローテーションで使いましょう。
畜舎に防虫ネットを設置しましょう。

□:畜舎周りはきれいに管理されていますか？

畜舎周辺の雑草を刈り取ったり、防草シートを設置しましょう。
(サシバエは日中茂みに潜んでいるので、休み場所をなくしましょう。)



サシバエは牛伝染性リンパ腫(牛白血病)やランピースキン病の原因となるウイルスを媒介すると考えられています。
ひとりひとりが徹底した対策を行い、地域ぐるみで防疫体制の強化をはかっていきましょう！

※薬剤は、用法・用量を守って使用してください。

畜体にかかると休薬期間が必要になることがあるため、ご注意ください。

岐阜県中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1

TEL : 058-201-0530

FAX : 058-201-0531

Email : c24502@pref.gifu.lg.jp

